

迷惑メールへの注意喚起について

最近、大量の迷惑メールが大学のメールアドレス宛に多数送信されていますので、注意喚起のためお知らせいたします。

最近の迷惑メールには次のような特徴があります。

- ・件名にメールアドレスやアカウントを使用しているメール
- ・自分から自分宛へのメール(なりすまし)
- ・個人情報盗んだ記述と、解除するために振込を促す内容(ビットコイン等の支払い要求<脅迫>)

【サンプル：メール文】

ご覧いただけますように、このメールはあなたご自身のアカウントから送信されています。
残念なお知らせですが、どうぞご安心ください。ご説明させていただきます。
私はあなたのデバイスにアクセスし、すでに数か月に渡ってあなたの活動をモニターしています。
どうしてそのようなことが起きたのでしょうか？あなたがハックされたウェブサイトを開覧したことにより、そこに仕掛けられた私の個人的なマルウェアにあなたのデバイスが感染したのです。
これはとても複雑なソフトウェアであり、トロイの木馬のような動きをします。また、個人的なマルウェアのため、アンチウイルスソフトが検知することが出来ません。
キーボードの操作を監視・記録するキーロガーが仕掛けられており、これにより私は、あなたのデバイスにおけるカメラやマイクの操作、ファイルの転送、あなたのローカルネットワークへのアクセスを行うことができます。
デバイスの情報にアクセスするのに少し時間がかかりましたが、現在、私はあなたの連絡先やテキストの全情報を入手しています。

以下、迷惑メールを見分けるためのポイントを記載いたしますので、もし、迷惑メールが届いたかなと感じた時は、不用意に開かずに削除するなど、不正アクセスを生じさせないための対応をお願いいたします。

【迷惑メールを見分けるためのポイント】

- ① 基本的に知らない相手からのメールである。
- ② 心当たりはないが、メールのタイトルが興味をそそるものである。
- ③ 知らない相手だが「至急、ご確認ください」など開かざるを得ない内容である。
- ④ これまで届いたことがない公的機関からの通知やお知らせである。
- ⑤ 本文が英文であったり、日本語の言い回しや漢字が不自然である。
- ⑥ ファイルの添付があり、すぐに開くよう促している。

(参考) 仮想通貨で金銭を要求する迷惑メールに注意 (IPA 独立行政法人 情報処理推進機構)

URL: <https://www.ipa.go.jp/security/anshin/mgdayori20181010.html>

(参考) 標的型攻撃メールの例と見分け方 (IPA 独立行政法人 情報処理推進機構)

URL: <https://www.ipa.go.jp/files/000043331.pdf>

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

大阪大谷大学 情報教育センター

メールアドレス: [jyoho@osaka-ohtani.ac.jp](mailto: jyoho@osaka-ohtani.ac.jp) 電話番号: 0721-24-1117(直通)

以上